

【リリース】※拡散してください

いよいよ公開！ぜひ劇場へ！！

ドキュメンタリー映画「豹変と沈黙～日記でたどる沖縄戦への道」

東京・新宿 K' s cinema で 8/16～8/29 公開（全国順次）

敗戦 80 年のことし 8 月に公開される本作は、日中戦争と沖縄戦が地続きであることを見つめた稀有な映画です。日中戦争を冷静に論じることが難しい時代…例えば 1937 年の南京攻略戦やそこで起きた集団虐殺など南京事件は、歴史認識の問題などで“対立”が煽られてきた経緯があります。政治問題化、国際問題化もされてきました。日本軍「慰安婦」の問題も同様です。これらはメディアが距離を置きやすいテーマになっていますが、本作はその両者ともを描いた“挑戦の映画”です。

本作は 4 人の戦中日記をたどるストーリーですが、彼ら一兵卒が戦闘の合間に綴ったその記録は、図らずも戦争の真実を浮かび上がらせています。捕虜の虐殺。略奪。慰安所通い…彼らがどれだけ自覚的であったかは分かりませんが、日本軍の深刻な加害性をも露わにしています。戦争の語りは“被害”に重点が置かれやすいと思いますが、本作は“加害”にも焦点を当てているのです。テレビ的な「新事実」「新発見」など話題性やドラマ性は立ち上がりませんが、“普通”の兵士らの“普通”の戦場を描いています。日中戦争も沖縄戦も、遠いどこかで遠い誰かが行なったものではなく、私たちの父親や祖父、曾祖父が行なった身近な戦争なのです。



※新宿 K' s cinema では

朝 10:00 開映の 1 日 1 回のみ

2 週間だけの限定公開です

お見逃しなく！！

※舞台挨拶などの予定 <https://www.ks-cinema.com/information/21301/>

※“戦後 80 年”で上映される映画の中でも異色の作品だと思われます。日本軍の加害性や、日常の中にある歴史の隠蔽や改ざんも描いています。

◇公式 HP

<https://www.yoshikazu-hara.com/>

◇本作監督（原 義和）個人 note

<https://note.com/hara818>

監督：原義和

出演：橋内良平、宮城さつき、西尾瞬三

日記：武藤秋一、山本武、昇、金城信隆

インタビュー協力：田中信幸、山本富士夫、山本敏雄、

具志堅正己、藤田佳久、常小梅など

2025 年／日本／DCP／104 分／カラー／16:9／5.1ch

© Yoshikazu Hara 2025

問い合わせ：原 義和（本作監督）

携帯 090-1544-9350 nausicaa07@gmail.com

2025. 08. 09. リリース

（長崎への原爆投下を祈り覚える日）